

活動についてのご相談は...

NPO 法人の設立・解散の方法講座 2月17日(月)14:00~16:30
NPO 法人の設立や解散をお考えの方は、ぜひご参加ください

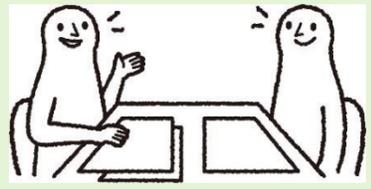


2/17 申込

NPO・市民活動なんでも相談会 2月25日(火)14:00~18:00
日頃の活動の疑問や悩みごとの相談など受け付けます



2/25 申込

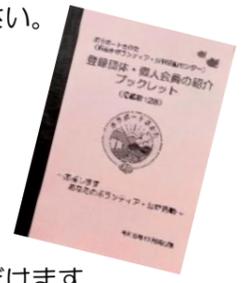


場所・問合せ先は共通です
★場所：酒田市交流ひろば 研修室（中町3-4-5）
★申込み・問合せ：NPO 法人やまがた絆の架け橋ネットワーク
Tel. 0237-85-1070 fax 0237-85-1071

「登録団体・個人会員の紹介ブックレット」 発行しました！

ボラポートさかたの登録団体・個人会員を紹介するブックレットです。活動内容や連絡先などの情報が載っています。手作りの冊子です。ぜひ、お手にとってご覧ください。

- 交流ひろば、地域福祉センターなどに設置しています。ご自由にお持ちください。
- 最新の団体情報（発行後に登録した団体や、内容変更など）は、ボラポートさかたホームページでご覧いただけます。
URL : <http://sakata-vc.com/booklet/>
- 問合せ：ボラポートさかた（1面参照）



助成金情報

ボラポートさかたホームページの「助成金情報」では、外部の助成金情報サイトも紹介しています。各サイトからは、様々な分野の助成金情報を検索することができます。

パソコン画面ではサイドメニュー内に、スマホ画面では下方にスクロールすると「助成金情報」のボタンがあります。各助成金のページを閲覧してみると、多様な団体や活動のアイデアと出会うこともあります。ボラポートさかたからのお知らせメールでご紹介できなかった情報もたくさんありますので、ぜひチェックしていただき、みなさんの活動にご活用ください。



←簡単アドレス登録！
ボランティア・市民活動についての情報をメールで送信しています（不定期）。ご希望の方は、お名前と、件名に「メール希望」と記入して送信してくださいね。

ボラポートさかたのホームページはこちらから



VPSAKATA

スタッフより

今号のおたより発行前からボランティア・市民活動交流会の日程や内容のお問い合わせ、「楽しみです！」等のお声をいただきとても嬉しいです。出会いやつながりの場を大切に、今年も取り組んでまいります(^)/ (藤井)

日向ささえあい除雪ボランティアに参加してきました。「雪あんながな」と半信半疑でしたが問題なしでした。動いたカロリーより、交流会でこらそうになったカロリーがきっと上回ったけどよしとしよう。(齋藤)

災害ボランティアに参加された方のお話を伺い改めて「自発性」「出会い」「つながり」「選択肢」などのキーワードが頭をめぐっています。「どんなボランティアがあるかな？」など、お気軽にご相談下さいね。一緒に考えましょう。(後藤)



市役所、市役所支所、交流ひろば、文化センター、ミライニ、サンロク、各コミセン、親子スポーツ会館、武道館、東北公益文科大学、酒田看護専門学校、産業技術短大庄内校、庄内障害者就業・生活支援センター、にこっと広場、ヤマト運輸八幡センター、ヤマト運輸京田センター、山茶花、仏壇のさとう、くだものやさいにしまら、カフェ&ジェラートモアレ、ギャラリー喫茶フレンド、酒田市社協、社協支部 ほか市内の施設や店舗など

☆ご自由にお持ちください☆

はじめる。つながる。ひろがる。 No.115 令和7年1.2 酒田市ボランティア・公益活動センター ボラポートさかた 通信



●発行：ボラポートさかた（酒田市ボランティア・公益活動センター）酒田市中町三丁目4-5 交流ひろば内
TEL:43-8165（平日8:30~17:15） FAX:26-5617 E-mail: volunteer@sakata-shakyo.or.jp
＊「ボラポートさかた」は酒田市より酒田市社会福祉協議会が運営を受託しています。

第10回 しりあう♡つながる♡何か生まれる 交流会 ～ボランティア・市民活動 交流会～

地域でさまざまな活動を行っている仲間たちと出会い、楽しい時間を過ごしませんか？活動のヒントも見つかるかも!? これから活動してみたい方や「ちょっと興味があるんだけど…」という方も、ぜひお気軽にご参加ください。

- 日時 3月1日(土)13:00~15:30 (受付12:30~、パネル展示準備は12:00~可)
- 場所 酒田勤労者福祉センター(緑町19-10)
- 内容 活動の紹介/交流(「活動していて良かった!と感じたエピソード」など、楽しくお話ししましょう!)
- 対象 公益活動やボランティアに取り組んでいる団体・個人、活動を始めたい方、興味のある方など
- 参加費 300円(飲物代など)
- 定員 60人
- 申込み 2月20日(木)まで下記二次元コードから
または申込用紙を下記へ(用紙はボラポートさかたホームページからダウンロードできます)

★交流の際に「活動していて良かった!と感じたエピソード」を共有したいと思っています。活動中ではない方も「こういう理由でこんなことをしてみたい」などで結構です。みなさんご用意いただければと思います。

お問い合わせ・お申込み：ボラポートさかた（酒田市ボランティア・公益活動センター）
電話：43-8165（平日8:30~17:15）FAX：26-5617 メール：volunteer@sakata-shakyo.or.jp



申し込みフォーム

令和7年度 酒田市公益活動支援制度 説明会

- ★日時：2月15日(土)10:00~12:00
- ★場所：交流ひろば(中町3-4-5)
- ★内容：公益活動支援補助金および公益活動団体協働提案負担金の説明
- ★対象：公益活動やボランティアに取り組んでいる方および活動を始めたい方/先着20名
- ★申込み：2月13日(木)まで右記二次元コードから
- ★問合せ：ボラポートさかた Tel:0234-43-8165
- ◆本制度は、令和7年度予算の成立が前提となります
- ◆すでに活動実績のある団体でも活用できる場合がありますのでご相談ください
- ◆今回から人件費の一部が助成対象になります



申込フォーム

みなさまぜひご参加ください♪

添付の申込用紙もご利用いただけます

「災害ボランティア参加者の声」

昨年7月の豪雨災害から半年となりました。酒田市災害ボランティアセンター（以下、ボラセン）を通しては、延べ約7,650名の方が活動されました。今回、3名の方にお話を伺いましたので、ご紹介いたします。

参加した若い子達のボランティアのハードルが少しでも下がってほしい

S.T.さん（酒田市／会社員／40代）

中学校2年生から社会人まで八幡に住んでいたし、災害が起きて、たまたま阿部彩人さんのYouTubeを見て「これは行かねえね」と思ったのがきっかけです。ボランティアは初めてです。8/1から年休など10日とって参加し、仕事が夜勤シフトに変わってからは、朝5時まで仕事して12時までボランティア、帰宅後14時に寝て18時に起きて出勤し、夜勤明けまたボランティアに行っていました。八幡、西荒瀬、松山など市内全域で活動し、最終的に80回以上かな。地元だったからという理由で行き始めましたが、全部の作業が終わり八幡のボラセンが開まるまで行こうと。八幡で良くしてもらったので、ある意味恩返しみたいな感じもあったのかもしれないです。

熱中症になりかけた時は「これ以上動いたら倒れる…」と、かなりきつかったです（暑さで半日で作業が中止になった日）。また、八幡では、天井付近まで土砂が流れ込んでいるお宅もあって、床下も含め全部出す作業は本当に大変でした。何度も行った八幡の常禅寺地区では、顔見知りの家主さんも増え「また来たか」「皆勤賞じゃないか」と言われることもありました。最初は土砂で埋まっていた家が少しずつ見えるようになってきて、なんとかなるのかな…って気持ちが動いた家主さんもいたようです。

地元だったこともありますが、自分の性格上、できるだけ綺麗にしたいという思いでやっていました。ボランティアは年代も経験も様々な人が集まるので、違いを感じることもありましたが、「なんとかしたい」というのはみな同じだったと思います。参加して変わったことは特にはないですが…6キロ痩せました(笑)。今回知り合った“同志”ともいえる人達とのグループLINEで、雪かきボランティアの話もしています。

他県から自腹で来てくれる人はやっぱりすごいです。酒田の人がもう少し来てくれてもいいのにな…と思うこともありました。今回、多くの高校生や若い子たちが参加して、それによって、ボランティアをやったことがないために高かったハードルが、少しでも下がってほしいなと思います。



たまたまランニングにでかけた場所が…

T.S.さん（鶴岡市／学生／20代）

ニュースでは見ていたものの、被災地域がどこかよく知らなかったんです。たまたまゆりんこ周辺にランニングにでかけ、国道沿いに走って行くと「もしかしてここ…」と。土砂や流木が想像を超えていて「すごいことになっている」と実感したのがきっかけです。その後、学校での9月中の募集に申し込みました。ボランティアに自発的に参加したのは初めてです。参加前は「どんな感じなんだろう」「ちょっと作業中の事故は怖いな」と漠然とっていました。

活動は、既に何度も参加していた手際のよい社会人の方達と、庭の池とお宮の泥出しを行いました。お宮の床下から掻き出した土砂を土嚢に詰め運びましたが、地面が泥だらけでネコ（一輪車）がすごく押しづらかったです。活動後、家主の娘さんから感謝の言葉をいただいて、少しでも助けになったかなという実感と、お宮もきれいになって充足感もありました。アイアイひらたで活動者として無料入浴させてもらったのもありがたかったです。

今回は、偶然その地域に行って「行ったほうがいいのか」と自然に思いました。人づてに聞くことだけじゃなくて、“自分で見てこそ思うこと”を大切にしたいと思っています。友達や親に話すと「へー」とか「おー」という反応だったのですが、実際に見たわけじゃないので仕方ないですし、「行った方がいいよ」という風に言おうとは思っていません。自分が思っただけで行動してこそボランティアなのかなと。自分も言えた義理ではありませんが、世界のことに目を向けてもあまり頭に入らないんですけど、地元のことには目を向けてみると、自分が住んでいるので、ちょっと実感があると思うんです。それで、ちょっと気になったことを、今度は実際に見てみたり、とにかく興味を持ってみるというのは大事かなと思いました。今後に関しては分かりませんが、基本的にはやっぱり自分で見て、行きたいなと思ったら行く、そういう感じでやっていこうと思っています。



H.J.さん（酒田市／70代）

たくさんの出会いが継続の力に

自宅は車庫と蔵に水が入ったものの、道路2本挟んだ地区は被害が大きく、かえって「私、こうしていいんだろうか」、今までテレビで第三者的にボランティアさんを眺めてきたけれど「地元が被災し黙っていいんだろうか」と思ったのがきっかけです。避難所の手伝いはないかと7/30にボラセンに電話すると、ボラセンの受付の手伝いの話がありました。8時過ぎから1～2時間と、足の悪い私でも、時間的にも体力的にも可能な活動でした。

活動中、たくさんの出会いがありました。運営の応援に入った北海道・東北、県内各地の社協の方、酒田市役所の方、何回もいらしていたボランティアの方…車中泊で活動を続けていた方からはいろいろなことを教わりました。女性が多かったのも驚きましたね。女性もできる作業があり、力のある男性だけがお手伝いになるのではないと知りました。こんな出会いがあったから、4か月間続いたのかもしれないです。でも、遠方から旅費も宿泊費も自前で来て下さっている方々の原動力は、ずっと考えていましたが、分からないままです。私は他県でお手伝いできないですし、私の活動は軽くて申し訳ないような気持ちにもなりました。でもそれも含めて実に多くのことを学ばせていただいたと思っています。

知人に受付ボランティアのことを話すと「いろいろな種類のボランティアがあるんだ」と、それをきっかけに現場での活動に2回参加した方がいました。災害時の避難所のお手伝いなどは個人情報もあるし、ボランティアの受入れの調整をするのも大変なことは分かっていますが、災害ボランティアに限らず、いろいろな選択肢があり、もっと発信していただければ「これならできるかな」という人はもっといると思います。

実はこの活動のご縁で、新たなボランティア活動も始めています。人と人との繋がりがすごいですね。地域支え合いセンター（後述）のお手伝いも、何かあればぜひと思っています。これからのものね、終わったわけじゃない。ボランティアって、人のためになく自分のためにしても、結果的に誰かのためになればいいのかな、と実感したし、そういうつもりでやっていこうかなと思っています。

1	けえ	食べてください	
2	くら	食べる	
3	こお	一緒に食べよう	
4	どき	どこに行く	
5	ゆき	飯場へ行きませう	
6	あべ	一緒に行きませう	
7	もっけだ	申し訳ない ありがとう	
8	めいよけ	気の毒 かわいそう	
9	かがほし	まがしい	
10	やびち	凍れて冷たく気持ち悪い	
11	くたびだ	疲れた	
12	ががた	体調が悪くなった	
13	いかつた	良かった	
14	おほげだ	びっくりした	
15	んだ	そうです	
16	んでね	ちがいます	
17	ねまる	癒える	
18	ながまる	癒になる	
19	のだぼ	腹ばいになる	
20	ちよす	いじる 触る	
21	けもす	かき混ぜる	
22	あつけづばこ	ゴミ箱	飯場手前
23	あちさん	よその人	

「庄内弁を覚えたい」という神戸の方のためHさんが作成した表

酒田やわた未来会議のご紹介

「未来を担う若い世代を中心とした多くの力を、甚大な被害に遭った地域のために結集していきたい」（団体ホームページより）と発足した“酒田やわた未来会議”。災害ボランティア参加者のお話でも名前が挙がった、阿部彩人さんが代表をされています。被災農地での流木撤去や手刈りでの稲刈りボランティア、地域での昼食会や交流会などを開催しています。活動の様子は、団体のホームページからぜひご覧ください。



ホームページはこちら

大沢地区での被災農地ボランティアの様子

酒田市被災者生活支援・地域支え合いセンター



参加者みなで寄せ書き



ふるさとカフェの様子

大雨災害による被害に遭われた方がそれぞれの環境で安心して生活することができるように、生活支援相談員が戸別訪問を行い、日常生活や生活再建に関する困りごとをお伺いし、必要な支援制度などの情報提供や関係機関へのつなぎを行うなど、継続的なサポートを実施していきます。

また、被災地域を対象に「ふるさとカフェ」を開催し、離れ離れになった住民同士をつなぐことや、リフレッシュや楽しみの場作りも行っていきます。

☎23-5764 ✉sasaeai@sakata-shakyo.or.jp